

# 会議録（フロア）

報告日：2025年11月4日（火）

会議名	令和7年度 地域連携推進会議
年月日	2025年10月25日（土）
出席者	構成員①（利用者様）、構成員②（利用者様）、構成員③（保護者様）、構成員④（保護者様）、構成員⑤（地域関係者）、構成員⑥（望未園入所サービス管理責任者）、構成員⑦（入所相談員）
議題	<ol style="list-style-type: none"><li>サービス管理責任者 より</li><li>本日の次第、出席者自己紹介</li><li>施設見学</li><li>地域連携推進会議の目的について</li><li>社会福祉法人 愛誠会 望未園について 法人理念、施設での様子、研修の様子など</li><li>構成員より</li></ol>
内容	<ol style="list-style-type: none"><li>サービス管理責任者 より サービス管理責任者より開催に向けての挨拶。</li><li>本日の次第、出席者自己紹介 本日の次第の確認 構成員の自己紹介をそれぞれ行う。</li><li>施設見学<ul style="list-style-type: none"><li>・望未園 2階入所、3階入所を見学。</li><li>・施設内を見学しつつ、望未園での生活の様子について、伝える。 フロアやご利用者様の様子、施設内の活動について伝えるとともに了承を頂けたご利用者様の居室を拝見させて頂く。</li></ul></li><li>地域連携推進会議の目的について<ul style="list-style-type: none"><li>・パワーポイントを活用しながら地域連携推進会議の趣旨について説明する。</li></ul></li><li>社会福祉法人 愛誠会 望未園について<ul style="list-style-type: none"><li>・法人理念、施設での様子、研修の様子をパワーポイントで説明。以下概略。 &lt;法人概要&gt; 障害者入所施設は、障害のある方が日常生活を送るための支援を提供する施設で、主に介護や生活支援を行います。</li></ul></li></ol>

## ★障害者入所施設の定義

障害者入所施設は、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの一環であり、障害のある方が地域での生活を支援するための施設です。主に「施設入所支援」と「日中活動系サービス」を提供し、利用者が自立した生活を送るためのサポートを行います。

### ●設立

平成 17 年 1 月 6 日

望未園開所 入所更生 50 名 短期入所 10 名

- ・当時は障害者更生施設。

⇒現在は障害者支援施設、入所者 58 名 短期入所 2 名

<法人理念並びに入所基本目標について>

### ★法人理念：奉仕のこころ

- ・利用者が求める福祉・医療サービスを過不足なく、誠実かつ高潔に提供する。
- ・地域社会、保護者、他機関、職員等との間の良好な関係を作る。
- ・公平で透明性の高い健全な経営を行う。

### ★入所基本目標：利用者の人生に安心と希望を

<虐待防止への取り組みについて>

下記 4 点について報告。

- ・年に 1 度 外部講師を招いて虐待防止研修を実施。
- ・虐待防止研修の一環として、各職員にセルフチェックシートを配布し、ご利用者様への声掛けの仕方や関わり方について、振り返る機会を設けている。
- ・身体拘束等の適正化に向けての研修を実施。
- ・e ラーニングを活用しながら、虐待のみならず、障害者支援における幅広い分野での研修を職員各自で行えるよう体制を整えている。

<施設での生活について>

各季節行事や日常の活動の様子、グループ外出の様子について報告。

<外国人実習生受け入れの現状について>

- ・現状報告を行う。下記参照。

2019 年 11 月 ミャンマー実習生の受け入れを開始。(女性 2 名)

2021 年 12 月 実習生受け入れ (女性 1 名)

2022 年 7 月 実習生受け入れ (女性 2 名)

2023 年 7 月 実習生受け入れ (男性 1 名)

2024 年 2 月 実習生受け入れ (男性 1 名)

2025 年 6 月 実習生受け入れ (男性 1 名)

※現在、女性 2 名 男性 3 名が実習生として業務に携わっている。

女性 1 名は正規職員として支援に携わっている。

## 6. 構成員より

- ・構成員③：施設内の様子は実際に見てみないと分からない。なかなか見る機会が今までなかった。
- ・構成員④行動障害が強く、多動で自閉症である我が子が職員から可愛がられて本当にありがたい。自宅へ帰省後、いざ望未園に戻ろうとすると、進んで帰ろうとする本人の姿を見て、本人にとっても安心する生活の場なのだと感じている。障害のある方が社会で生活をしていくためには地域との繋がりや支えが重要だと考えている。こうした場を通じて、地域社会の方々に望未園がどのような施設で、どういう方が住まれているのか広く知れ渡つていくことは良い機会だと感じた。
- ・構成員①：緊張した表情で頷いてくれる。サービス管理責任者から「今日はおしゃれしたんだよね」とお話を頂くと嬉しそうに頷いている。
- ・構成員②：「緊張しました」とのこと。施設での生活について伺うと「個別外出やグループでの外出が楽しかった」とのこと。
- ・構成員⑤：自身も介護施設に努めているが、内部の事については実際に見学をしてみないと分からない。障害者施設となるとまた雰囲気も異なってくる。見学出来ていい機会だったと思う。
- ・構成員⑥：虐待については特にこのご時世厳しい時代となっている。ベッドに策を設けるだけでも身体拘束というものに該当し、それに伴う会議や記録の明記が必須になってきている。研修は勿論、日々意識的に努めていく必要がある。また、地域連携推進会議だけではなく、望未園内での自治会を開催している。そのような”会”に利用者が参加することに意義がある為、今後も引き続き取り組んでいきたい。
- ・構成員⑦：地域連携推進会議への参加に対する感謝の意を伝える。

以上。